



特集

それぞれの夢に向かって - 令和4年成人式 -

〜新成人256人が  
新たな門出を迎える〜

令和4年松浦市成人式が1月4日、文化会館で開催されました。今年の市内の新成人は、男性143人、女性113人の計256人。

式典では田所宣武さん（福島町）と、石田ひかるさん（鷹島町）が司会を務めました。

友田市長は、「成人という節目を迎え、多くの権利が与えられると同時に自覚と責任が求められることとなります。これまで支えていただいた家族や地域の皆さまに恩返しができるよう、また社会を創造する新たな担い手として力を尽くし、自分自身で夢を叶え、幸せをつかんでください。これまで以上に辛く、苦しいこと、失敗し悔やむことがあると思います。それを乗り越えた先には、必ず喜びが待っています。常に前を向き、一生懸命生きてください」と式辞を述べました。

新成人の代表者2人が「二十歳の抱負」を述べた後、久保川芽依さん（調川町）が交通安全宣誓を行い、最後に嘉松朋弥さん（御厨町）が市長から記念品を受け取りました。







鷹島



御厨



調川



福島

私は、現在沖縄の大学に通っています。期待を膨らませて進学をしましたが、コロナウイルスの影響で完全オンライン授業や、外出制限といった生活を余儀なくされました。私は、このままいくと大学生生活を無駄にしようと考え、早速行動に移しました。

大学で出会った友人とラジオ放送を始め、若い世代や大学生をターゲットにしたラジオ番組を持たせていただいております。また、今年度から地域振興団体を立ち上げ、クルーズ客船のゲストをターゲットにした観光振興を行っています。動きづらい今の世の中ではありますが、その中でも今の自分に何ができるのかを考え、少しでもお世話になった方や、生まれ育った町に恩返しができる社会人となっていきます。



新成人代表  
山口泰弘さん(星鹿町)

私は、進学をきっかけに松浦を離れ、現在一人暮らしをしています。しかし、ふとした時に松浦の自然や温かい環境が恋しくなることがあり、帰省するとほっと息をつくような安心感があります。

これからは私たち世代が地域社会を支える立場になります。今は、松浦を離れていますが、誰かを安心させられるような松浦であり続けられるように、これから地域に貢献していきたいです。

私たちはこれからの長い人生を謳歌おうちするために、人と人との繋がりがりや絆、経験を中心に刻み、大切にしていきたいです。

多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、命の尊さを自覚し、夢と希望を胸に、全力で邁進していきます。



新成人代表  
つぐみ  
久家亜海さん(志佐町)

二十歳の抱負

※一部を抜粋して掲載